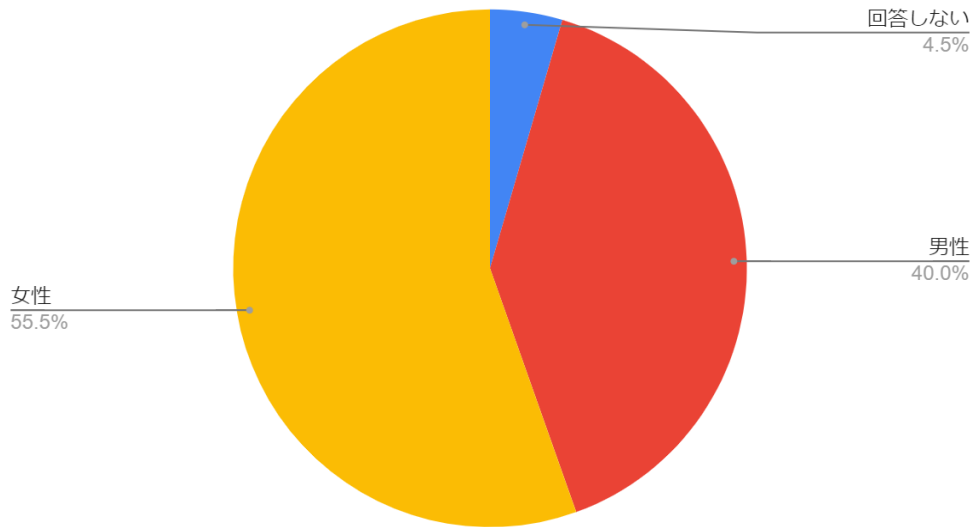


## 全会員向けアンケート グラフ部分まとめ

「性別」 110件の回答数



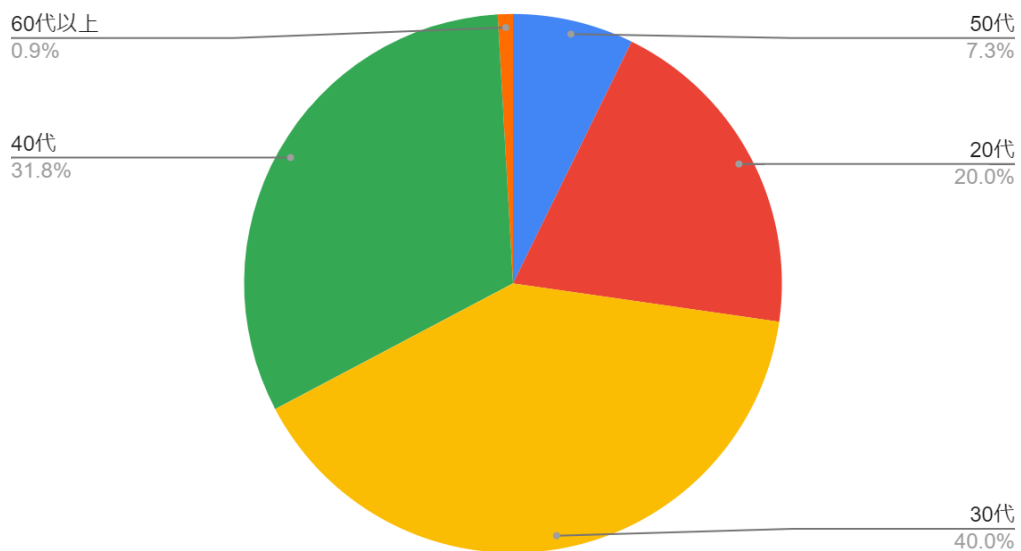
男性:44(40) 女性:61(55.5) 解答しない:5(4.5)

### 【考察】

女性の回答率が若干高い。

---

「年代」 110件の回答数



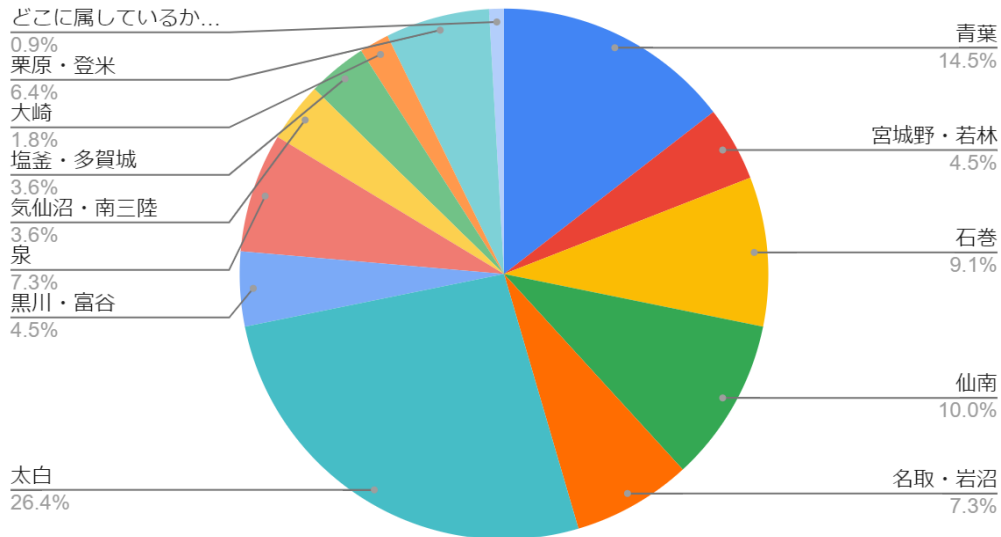
20代:22(20) 30代:44(40) 40代:35(31.8) 50代:8(7.3) 60代:1(0.9)

### 【考察】

30代、40代の回答率が高く、20代の回答率がそれを下回っている。

---

## 「県士会ブロック」110件の回答数



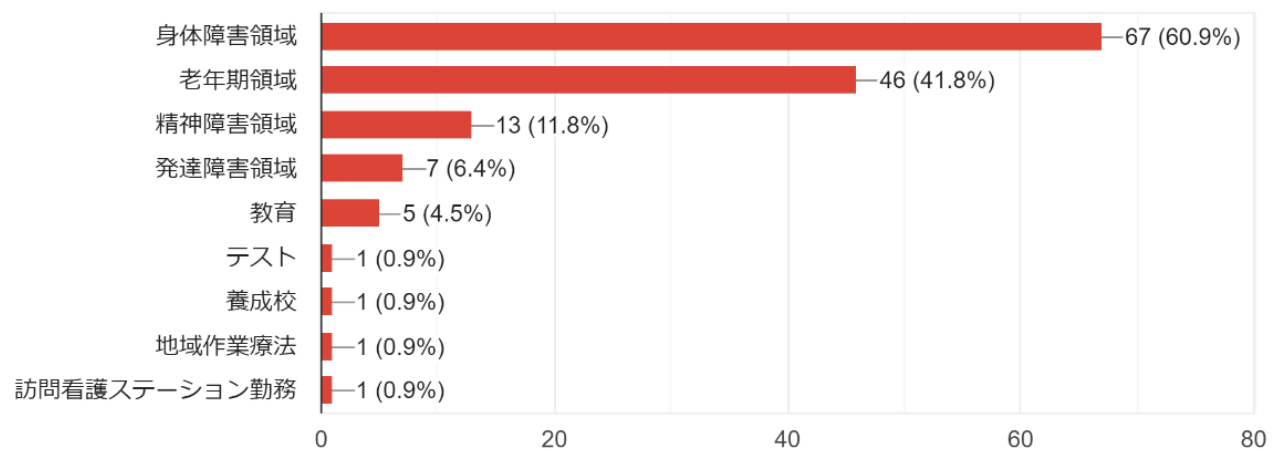
青葉:16(14.5) 太白:29(26.4) 宮城野・若林:5(4.5) 塩釜・多賀城:4(3.6) 泉:8(7.3)  
 黒川・富谷:5(4.5) 名取・岩沼:8(7.3) 仙南:11(10) 石巻:10(9.1) 大崎:2(1.8)  
 栗原・登米:7(6.4) 気仙沼・南三陸:4(3.6) 所属がわからない:1(0.9)

### 【考察】

太白ブロックの回答数が最も多い。

## 領域（複数選択可）

110件の回答

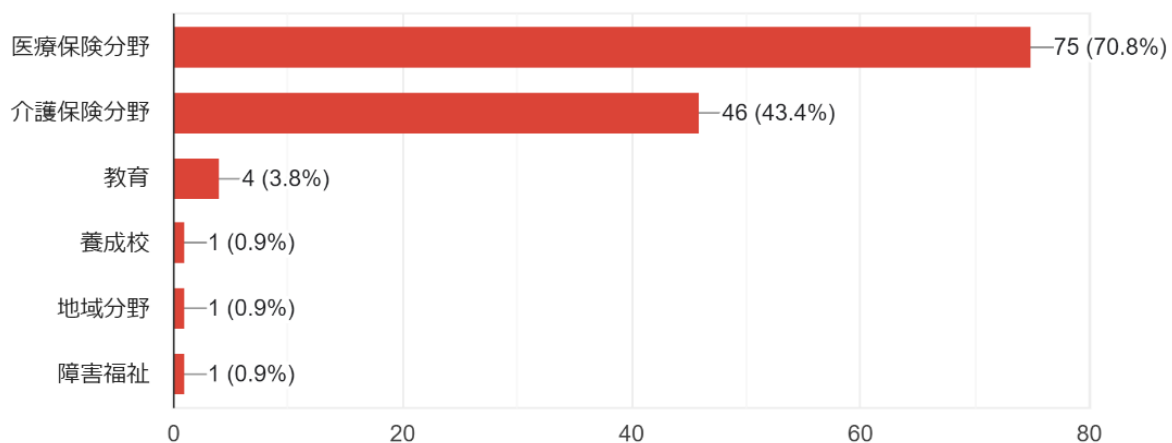


### 【考察】

身体障害者領域、老年期領域に続き精神障害領域、発達障害領域の回答数になっている。

## 分野（複数選択可）

106 件の回答

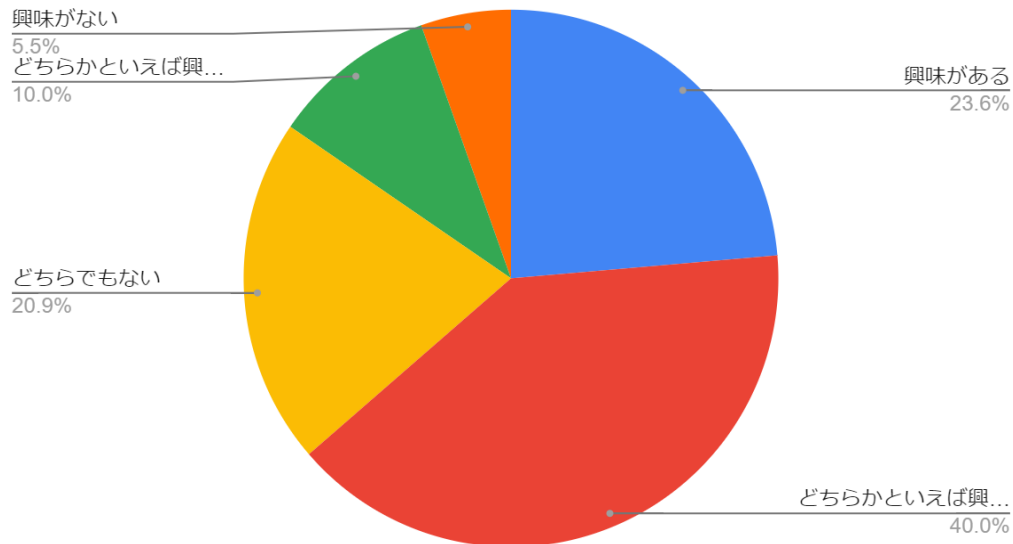


### 【考察】

医療保険分野と介護保険分野にお勤めする方からの回答がほぼ全体を占めている。

---

## 「宮城県作業療法士会主催の研修会について」 110件の回答数



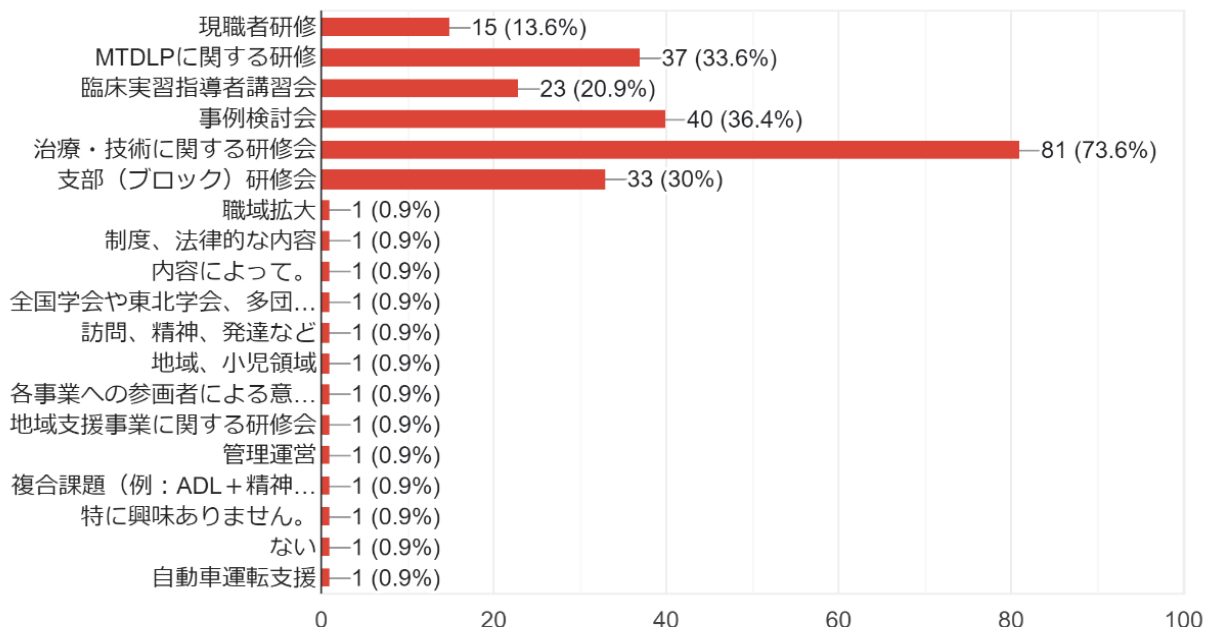
興味がある:26(23.6) どちらかといえば興味がある:44(40) どちらでもない23(20.9)  
 どちらかといえば興味がない:11(10) 興味がない:6(5.5)

### 【考察】

県士会主催の研修会に63.6%が興味を持っていただいております。現在の研修会に不満がある人は18.2%に留まっている。

### 興味のある研修会について（複数選択可）

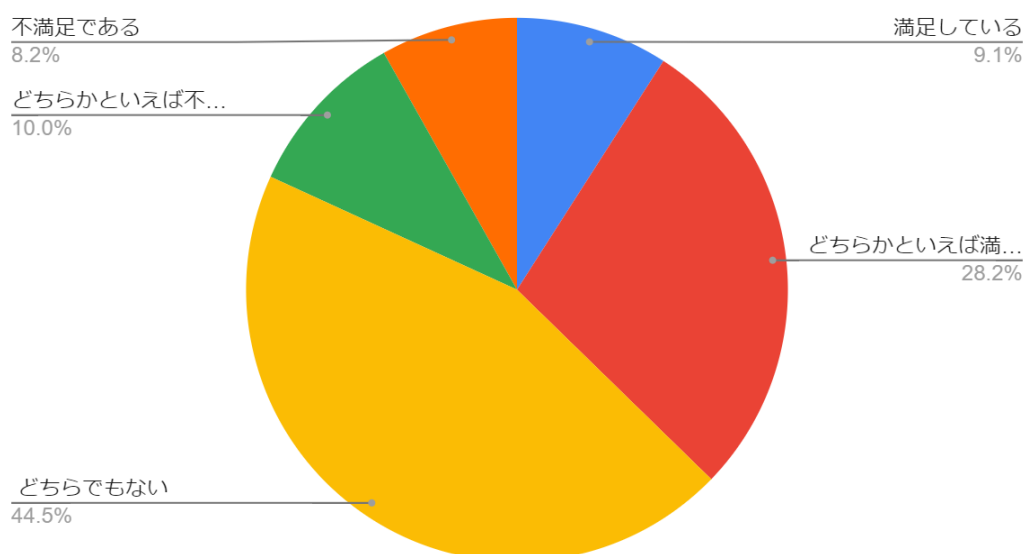
110件の回答



### 【考察】

治療・技術に関する研修会に興味がある方が最も多い状況。オンライン形式の研修会では実施する上で限界があると思われる。そのため、対面形式、もしくはハイブリット形式の開催の検討が必要。

## 「県土会企画の研修会の満足度」 110件の回答数



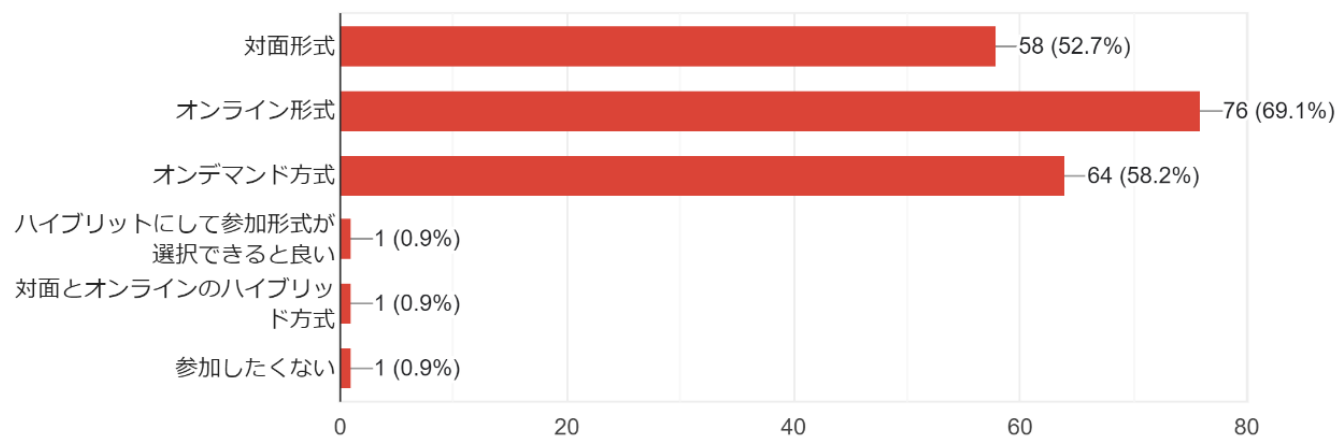
満足している:10(9.1) どちらかといえば満足している:31(28.2) どちらでもない:49(44.5)  
 どちらかといえば不満足である:11(10) 不満足である:9(8.2)

### 【考察】

現在の県土会主催の研修会に不満がある人は18.2%に留まっている状況である。

## 開催形式について（複数選択可）

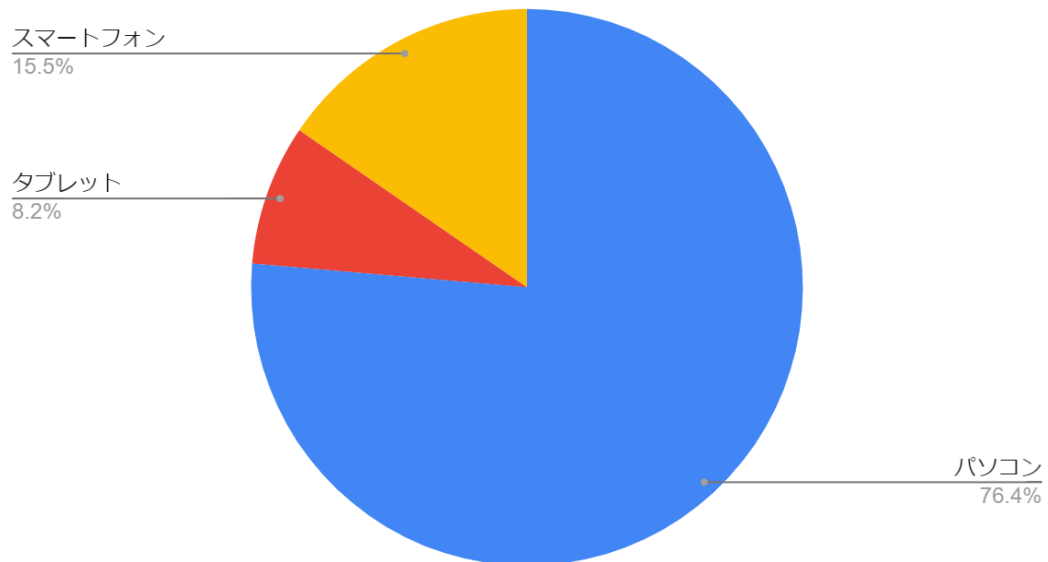
110件の回答



### 【考察】

対面形式の開催を希望されている方も60%近くいる状況であるが、オンライン形式、オンデマンド形式での開催を希望している方が多い。

## 「オンライン参加で使用する機材について」 110件の回答数



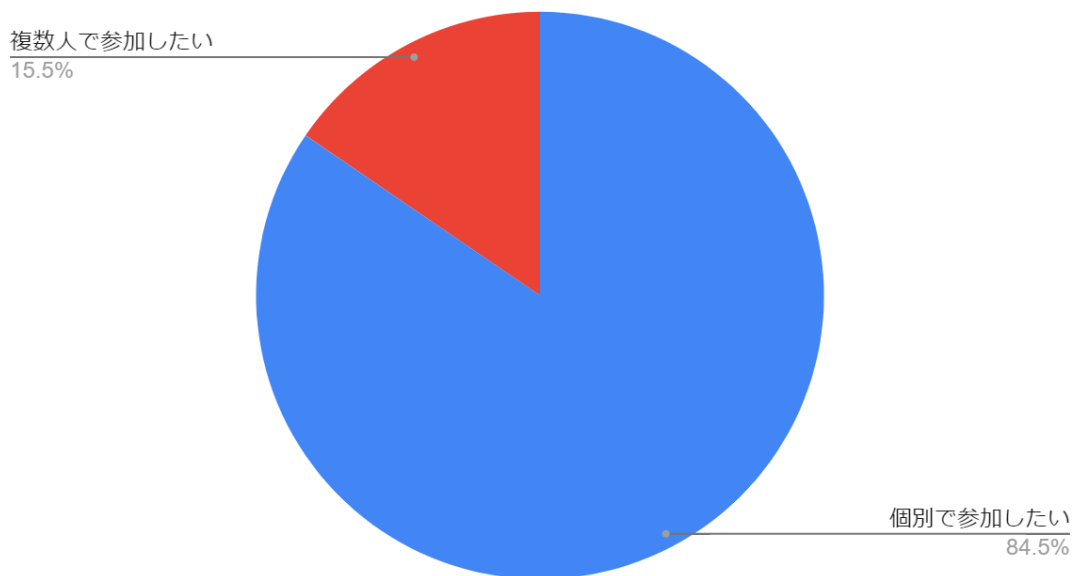
パソコン:84(76.4) タブレット:9(8.2) スマートフォン:17(15.5)

### 【考察】

ほとんど会員の方がパソコンもしくはタブレットを使用してオンライン研修会に参加をしている。

---

## 「個別参加と複数人での参加希望について」 110の回答数



問題がある:12(10.9) 問題はない:98(89.1)

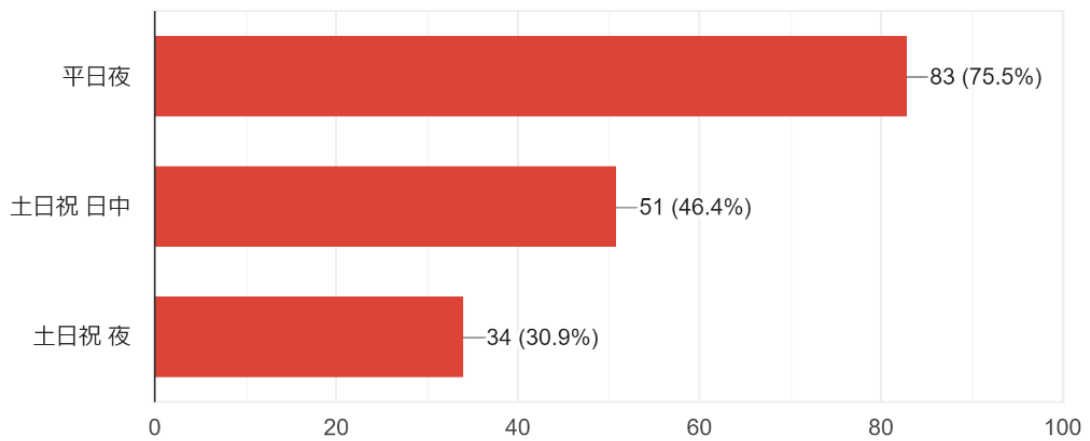
### 【考察】

89.1%の方がインターネット環境は完備されており、今後のオンライン形式の研修会、またはハイブリット形式の研修会の開催も推奨できる。

---

開催時間帯の希望についてお聞かせください。（複数選択可）

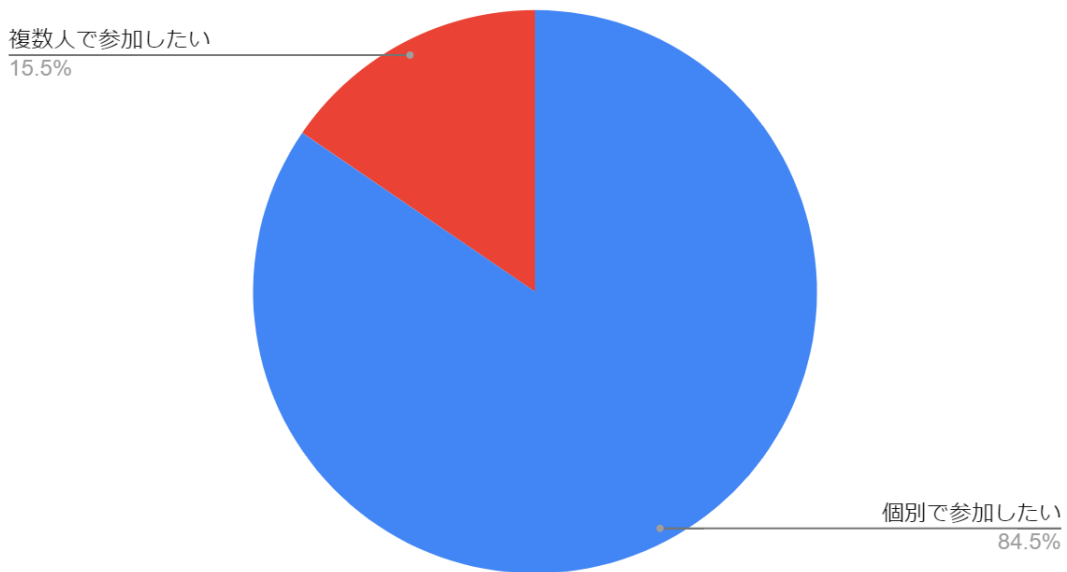
110件の回答



【考察】

オンラインやオンデマンド形式での希望が多かったこともあってか、平日の夜を希望されている方が多い状況。

「個別参加と複数人での参加希望について」 110件の回答数



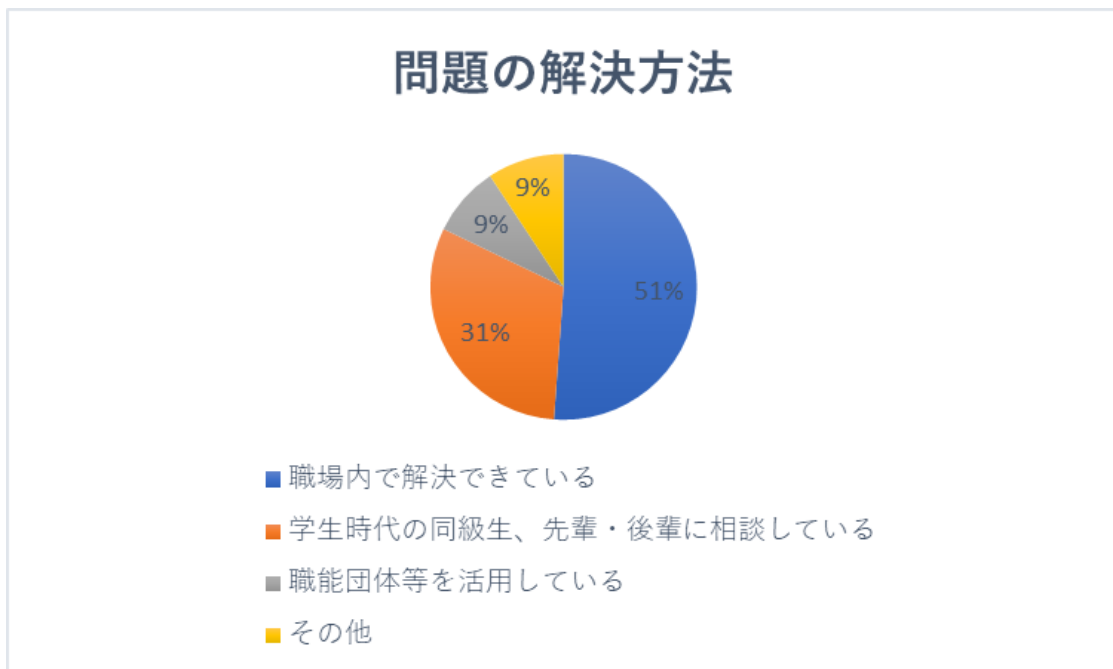
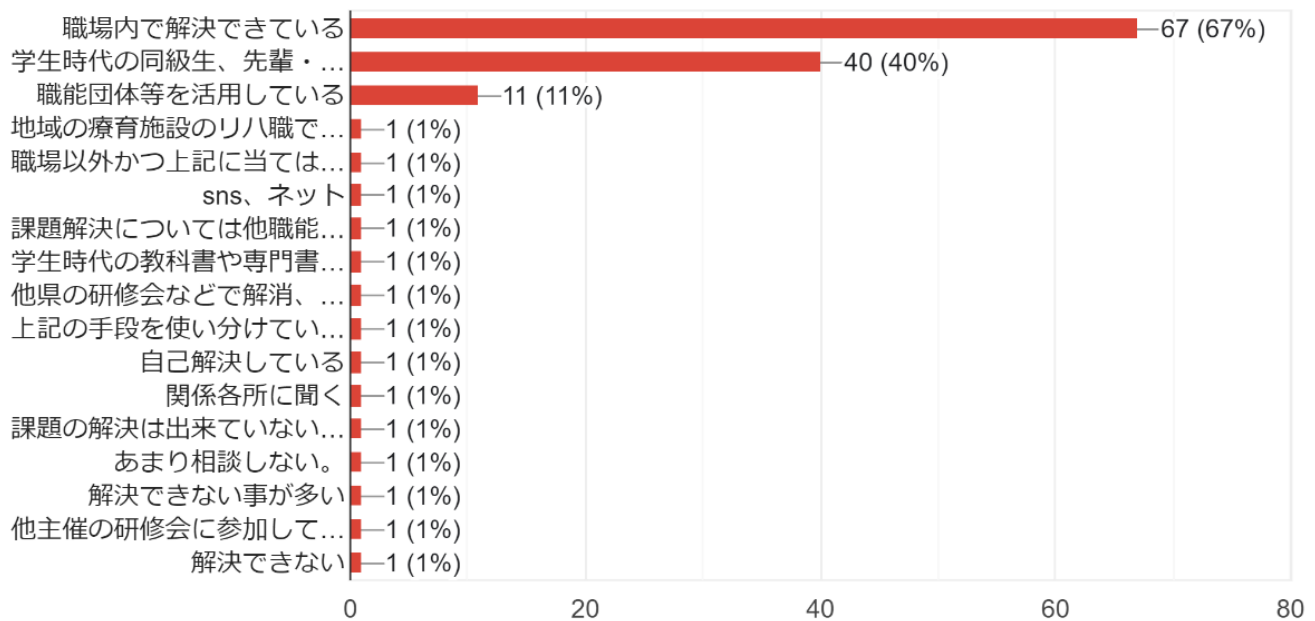
個別で参加したい: 93 (84.5) 複数人で参加したい: 17 (15.5)

【考察】

ほとんどの方が個別で参加をしたいと考えている状況。

## 職場内での悩みや課題の解消方法について（複数選択可）

100件の回答



職場内で解決できている	66
学生時代の同級生、先輩・後輩に相談している	40
職能団体等を活用している	11
その他	12

### 【考察】

ほとんどの方が職場内、もしくは学生時代の先輩、後輩に相談する事で課題を解決している。現在課題の解決の場として職能団体を活用されている方が少ない。